

**問** 生産性の向上、若者の担い手不足の解消に向けて、農業用小型無人機など、大変有効との観点から、普及の情報発信など今後の農業改革推進へ大変重要と捉えるが。

**答** 農家の高齢化や後継者不足が進む中、農業の持続化の

**問** 森林環境譲与税の有効な運用を、森林の維持増進において、地域特性に即した計画は。

**答** 森林経営者制度、いわゆる森林バンク制度に当譲与税を活用予定であり、公共建築物の木造化や木質化への利用をはじめ、搬出間伐を促進するため作業道などの整備、木材供給量の増進など、市林業の活性化を推進し、地域の森林を良好な環境で次世代へ継承できるように実施していく。



佐藤義之 (高志会)

**問** 市と観光協会の連携などによる機能強化推進の考えは。

**答** 観光振興施策推進のため、友好都市へのイベントなどでの特産品などのPR販売について連携して実施してきた。今後これまでに以上に連携を強化し、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」「北前船寄港地」「鳥海ダム」などを活用した広域的な観光誘客のため、近隣の市と連携しながら、環鳥海エリアの滞在型観光を推進していく。



ドローンによる農薬散布

ためには、省力化・低コスト化による生産性向上に取り組むことが重要であり、ICT農業への支援、スマート農業推進へ関係機関と協力し対応していく。

**問** 市と観光協会の連携などによる機能強化推進の考えは。

**答** 観光振興施策推進のため、友好都市へのイベントなどでの特産品などのPR販売について連携して実施してきた。今後これまでに以上に連携を強化し、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」「北前船寄港地」「鳥海ダム」などを活用した広域的な観光誘客のため、近隣の市と連携しながら、環鳥海エリアの滞在型観光を推進していく。

# 一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。6月定例会では、6人の議員が質問に立ちました。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

**6P 今野英元 (社会民主党)**

- ① 由利本荘市ケーブルテレビの風力発電関連の報道のあり方について
- ② 風力発電の超低周波音と健康被害

**8P 阿部十全 (無所属)**

- ① 風力発電について
- ② 障がい者の災害時避難所について
- ③ 由利本荘市版CCRC構想について

**9P 佐々木隆一 (日本共産党)**

- ① 自衛隊への募集対象者名簿提供について
- ② 西暦、元号併記すべき
- ③ 国保税について
- ④ 自転車の活用促進を
- ⑤ アルコール健康障がい対策について
- ⑥ 犬、猫などペットをめぐる状況は
- ⑦ 「民泊新法」について

**7P 佐藤義之 (高志会)**

- ① 秋田杉を活用した新産業創出について
- ② 森林環境譲与税について
- ③ 農業用ため池の管理及び保全について
- ④ 農業用小型無人機の普及について
- ⑤ 災害時の対策について
- ⑥ 観光協会のあり方について
- ⑦ 2020年スタートの「教育改革」について

**8P 高野吉孝 (市民創風)**

- ① 本市の空き家の状況について
- ② 地震に対する備えについて
- ③ 北前船展示施設の提案について
- ④ 稼ぐ観光の拡充について
- ⑤ 健康寿命の延伸について
- ⑥ 石脇地区道路見直し計画について
- ⑦ 教育環境の整備について

**7P 高橋信雄 (高志会)**

- ① 由利高原鉄道バス事業の及ぼす影響について
- ② 農業問題について
- ③ 県営工業団地の拡張と渋滞対策の進捗は
- ④ 前郷小学校跡地利活用の計画は

未来につながるまちづくりのために



今野英元 (社会民主党)

**問** ケーブルテレビ(CATV)の風力発電関連報道のあり方

**答** 西目地域「市民とのふれあいトーク」放送の中で、風力発電関連の質問、意見が一切放送されなかった。視聴者から放送しないのは行政の圧力があつたのではないかと指摘された。これに対して、CATV職員が視聴者宅を訪問し、①風力発電について十分な知識、情報を持っていない。②安易な報道は視聴者に誤解を与えかねない。③議会と当局の議論に水を差す恐れがある。と、放送しない理由を説明している。市は当初「時間調整の単純なミス」と回答しているが、放送しなかった理由は何か。

**答** 放送しなかった理由は、金曜日は地域の話題に加え「プレイバック」のコーナーも放送しており、編集過程の時間調整によるものだ。

**問** 由利高原鉄道バス事業の及ぼす影響は

**答** 「秋田未来プロジェクト」における、「鳥海山麓への2次アクセス確立と誘客促進のため由利高原鉄道の活用」は、市の観光施策として実施したものだ。平成28年度に多額の赤字を計上し、市に支援要請があつた。業務改善計画を提出し、市も市の責任を果たすべく委託事業を行った。

**問** バス事業の経緯と今後の対応は。

**答** しかし、令和2年度からの借入金返済の確約が得られず、市としても社長を再任する意思がないことを伝えた。バス事業の今後については県と協議しながら、来年4月からの事業実施業者を公募し、2次アクセスを確保したい。



高橋信雄 (高志会)

**問** 本荘工業団地の拡張と渋滞対策は

**答** 渋滞対策として県道鮎川南由利原線からまっすぐ工業団地へのルートで新規に橋を1つ子吉川に架け、三条のソフトボール場の道路につながるようなアクセス道路の検討を。県と警察本部、市、TDKが参加し渋滞対策検討会を立ち上げ、これまで7回の検討会、ハード・ソフト両面からの協議検討を重ねている。中・長期的な対策として本荘インターチェンジから本荘工業団地に至るアクセス道路の整備を知事に要望している。今後も工業団地の拡張計画と併せ、関係機関と連携し議員の提案されたルートも含め渋滞対策検討会で協議したい。



由利原の風力発電施設

**問** 職員が視聴者宅に置き忘れてきた「ゆりほんテレビのスタンス」という文書は、放送しない理由が明確に示されている文書だ。「うっかり置き忘れてきたメモ」などと言うのは、子どもだましの答弁だ。

**答** 職員は、この文書は意図的に置いてきたものではなく、説明用に作成したメモを置き忘れたと言っている。これは職員のミスであり、この文書が誤解を生んでしまったことは誠に遺憾だ。この件に関しては、担当職員に対して訓告処分を発令している。



朝夕の交通渋滞が見られる万願寺交差点





阿部十全 (無所属)

洋上風力発電建設の現地調査について

7月に予定されている欧州視察の内容は。

おおよそ20項目、生活に関連すること、工事に関連すること、トラブルに関連すること、地域貢献などである。

風力発電、健康への影響について

巨大施設が建設されようとしているが、それらが及ぼす健康への影響は。

人の健康に影響を及ぼす可能性は低いと考えている。なお、これまで市に対して健康被害を受けたとする相談は確認されていない。

障がい者災害時福祉避難所について

障がい者や避難困難者の実態聞き取り調査は。

避難行動要支援者名簿を作成しており、その後民生委員による聞き取り調査を行っている。なお、福祉避難所は19カ所が指定されている。



要支援者避難訓練の様子

由利本荘市版CCRC構想について

限界集落や消滅集落、ダム工事による移転など高齢化少子化に対応した新駅舎を中心としたCCRC構想の町づくりは。

現時点では考えていない。住み慣れた土地で暮らせるように地域包括支援センターなど地域サービスの充実を図ってゆく。

市に登録されている犬は、3203匹、猫は登録制度がないので把握していない。また、安らぎを与えてくれる伴侶動物として子どもの情操教育、高齢者の心のケアなどで関心が高まってきている。



佐々木隆一 (日本共産党)

自衛隊への募集対象者名簿提供は問題でないのか

地方自治体の自衛官募集について、自治体が協力を拒否し全国的に問題になっている。本市は募集対象者名簿を提出しているが法的根拠は何か。

自衛隊法第97条など都道府県知事、市町村長は「自衛官の募集事務の一部を行う」とされており、また、自衛隊法施行令にも「資料の提出を求めることができる」と定められており、防衛大臣の依頼で対応している。

犬猫など

ペットをめぐる状況は

わが国で飼われている犬猫は推計で犬1200万匹、猫950万匹である。ペットも大切な家族の一員として、ペット関連の業者も増えている。最近のペット事情と環境の変化は。



新築された県動物愛護センター

市では、獣医師会や関係機関と連携し、犬を飼うマナー教室やしつけ方教室を実施しており、広報などで動物愛護の啓発を行っている。

県は、犬猫を殺処分しないで飼い主へ譲渡する計画を進めている。本市でも殺処分ゼロへ向け何らかの手立てが必要でないか。

市議会だより第56号(平成31年3月定例会)「ここが聞きたい一般質問」のコーナーにおいて、高橋和子議員(高志会)の質問に不足の箇所がありましたので、あらためて掲載いたします。(追記箇所については波線で表示しています。)



高橋和子 (高志会)

地域医療の考え方は

鳥海地区は中核地区から離れた積雪地帯であり、現在の診療所は住民にとってかけがえのない存在である。しかし、地域医療検討会の提言には将来的には統合も必要とあるがどのようなプランを想定しているのか。

スケジュールやプランは白紙であるが、鳥海地域の住民が安心安全に生活できるように医療体制を堅持する。地域住民との情報共有や意見交換に努め、民間医療機関との連携を図るなど持続可能なあり方について検討する。



高野吉孝 (市民創風)

危険度の高い空き家の解体費補助金制度の取り組みは

鹿角市のように危険家屋の解体を補助する取組を。

危険な空き家などは、倒壊や周辺環境を著しく損なう恐れなどもあるため、ほかの自治体の状況、実態などを調査し、補助金の制度について研究していく。

全ての小学校へエアコン設置を

市内の小学校14校のうち今年度、熱中症対策で普通教室などにエアコンを設置するのは10校で、新山・小友・石沢・矢島の4校は対象外となった。

全ての子どもたちに熱中症の危険性があり、適切な学習環境と子どもの生命・身体の安全を守るためにも、不公平でないか。

4校については「統合」と「改築」を優先させ、エアコン設置は、統合校舎の整備や新校舎建設に合わせて行う。

熱中症対策は、室温を定期的に計測しながら児童への観察を強化し、体調管理に万全を期す。状況によっては、今後冷風機の導入も検討していく。

新山小・本荘北中学校の改築改修事業は

実施予定期間などの工事内容は。

新山小は今年度「基本設計」、来年度「実施設計」を経て、令和3年と4年で校舎改築、その後、国の交付金との調整を図りながら現校舎の解体、外構工事を経て、令和6年度末の完成を目指す。本荘北中学校は校舎棟の屋上防水・外壁・内部全体の改修に加え、旧プールや合宿所の解体・駐車場整備など、今年度の「実施設計」を含め、3カ年事業として令和3年度末の完成を目指す。



校舎改築が計画されている新山小学校

永年勤続

議員表彰

6月11日東京都内で開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる市政の振興に尽力された市議会議員としての功績が認められ、2人の議員が表彰されました。

在職15年以上

佐々木 慶治氏  
渡部 功氏



左から 渡部功議員、佐々木慶治議員